

## 漢字は高度な「表語文字」

今では世界のあらゆる民族が文字を使って書いてありますが、その殆どが表音文字です。然し既に述べましたやうに仮名やローマ字などの表音文字は、非常に安直な表記方法なのです。それに対して「表語文字」は言葉を直接表した文字ですから、一瞬ぱっと見ただけで直に意味が解ります。所が、表音文字はそれが出来ません。

ですから表音文字は、非常に効率の悪い表記法なのです。然し世界の殆どがそれで辛抱してゐます。

私は学生時代に国語学を習ひました。それに依れば、「文字は象形文字から始まり、それがだんだんに発達して表音文字になる。漢字は原始的な文字で、ローマ字やかなは、その発達したものである」といふやうに説かれてゐました。

然し、冷静に考へてみますと、表語文字から表音文字へ発達するわけがありません。文化の低い民族が、外国の文字を最も安直な方法で用ひてゐるのが表音文字なのです。文化が高くなればアッカードのやうに、表語文字に改造します。

日本の場合も、万葉がなといふ表音文字時代から表語的な漢字かな混り文に変化していきました。ですから変化の過程をよくよく調べれば、

国語学で教へてゐることはとんでもない間違ひである、と学生時代から思つて来ました。ローマ字とかかなは便宜的なもので、漢字こそが本当の文字なのだ、とこのやうに思つて来たのです。これが、私が漢字教育に取組み始めたきっかけです。